

章のまとめ

① 内分点の座標 (教科書 p.46)

2 点 $A(a)$, $B(b)$ を結ぶ線分 AB を $m:n$ に内分する点 P の座標 x は

$x =$

② 平面上の2点間の距離 (教科書 p.48)

2 点 $A(x_1, y_1)$, $B(x_2, y_2)$ 間の距離は

$AB =$

③ 平面上の内分点の座標 (教科書 p.50)

2 点 $A(x_1, y_1)$, $B(x_2, y_2)$ を結ぶ線分 AB を $m:n$ に内分する点の座標は,

④ 直線の方程式 (教科書 p.54, 55)

(1) 点 (x_1, y_1) を通り、傾きが m の直線の方程式は

$y - y_1 =$

(2) 2 点 $A(x_1, y_1)$, $B(x_2, y_2)$ を通る直線の方程式は、

傾き $m =$

を求めて

$y - y_1 = m(x - x_1)$ ただし $x_1 \neq x_2$

⑤ 2直線の平行・垂直 (教科書 p.57, 58)

2 直線 $y = mx + n$, $y = m'x + n'$ について(1) 平行になるのは、 $m =$ のとき(2) 垂直になるのは、 $mm' =$ のとき

(教科書 p.75)

⑥ 円の方程式 (教科書 p.61)

点 (a, b) を中心とする半径 r の円の方程式は

$(x - \text{)^2 + (y - \text{$

⑦ 不等式の表す領域 (教科書 p.68, 70)

(1) y $mx + n$ の表す領域は、直線 $y = mx + n$ の上側(2) y $mx + n$ の表す領域は、直線 $y = mx + n$ の下側(3) $x^2 + y^2$ r^2 の表す領域は、円 $x^2 + y^2 = r^2$ の内部(4) $x^2 + y^2$ r^2 の表す領域は、円 $x^2 + y^2 = r^2$ の外部